

別記様式(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第2回文化財保護委員会
開 催 日 時	令和5年1月24日(火) 午後1時30分開会 午後2時40分閉会
開 催 場 所	中田生涯学習センター 2階 学習室、スタジオ1
議 長 (委 員 長 又 は 会 長) の 氏 名	後藤悦雄議長
出席者(委員)の氏名	佐藤文則副議長、菅野純夫委員、工藤輝雄委員、千葉博之委員、佐藤謙一委員、浅野稔委員、佐藤貞光委員、笠原信男委員
欠席者(委員)の氏名	高橋啓一委員
事務局職員職氏名	生涯学習課長 山形敦、文化財文化振興室長 日野裕子、文化財文化振興室長補佐兼係長 石井真弓、技術主幹 小野寺智哉、主事 阿部美香、学芸員 高橋伶奈
議 題	文化財の指定について
会 議 結 果	大内家文書87件及び伊達宗重筆「武蔵野図」1幅の文化財指定について協議し、指定に賛同する答申を決定した。
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	第2回登米市文化財保護委員会 協議事項 (1) 文化財の指定について ○大内家文書 ○伊達宗重筆「武蔵野図」

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
事務局 議長 生涯学習課長	開会 挨拶 挨拶
議長	<p>欠席の委員が1名で出席が過半数であった。登米市文化財保護委員の会議運営に関する規則第2条第2項の規定に基づき、議長が会議を主宰した。</p> <p>—協 議—</p> <p>それでは協議事項に入ります。</p> <p>1つ目の大内家文書についての説明を、事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>前回の会議で実際に資料の確認をした上で、ご審議を賜るということにさせていただきました。別室に資料を準備しておりますので、移動していただければと思います。また、資料の取り扱いについて注意点を連絡いたします。資料を取り扱う前に、石鹸をつけて手を洗っていただいて、別室の方に移動していただければと思います。時計や胸ポケットの中などには、落下しそうなものは入れないでいただければと思います。筆記用具については、皆様のお手元に事務局で用意した鉛筆がありますので、そちらをご利用ください。</p> <p>(移動、資料説明、移動)</p>
議長	<p>はい、ご苦労さまでございました。</p> <p>それでは、今日、皆様のお手元に差し上げました(資料について)、前回いただいた資料等を読んで、これがあった方がいいのではないかと皆さんに配りました。</p> <p>蛍光ペンで色付けした分ですね。原田氏と書いておりましたけど、(原田宗政から)段々と下がってきて左のほうへ慶月院、それからもっと左へ行って亙理宗根が姉弟です。伝えられているとおり上の方に線を上っていくと仙台初代の(伊達)政宗と香の前、香の前というのは(豊臣)秀吉の第16夫人のことで、それを政宗にもらってきた(下賜された)という説があるんですけど、実は松山の茂庭に育てられたということで、系図としてこのように書かせていただきました。亙理宗根の左にいくと女と書いてありますが娘という。上に上がって左に定宗、その上の方に重宗、それからずっと上について元宗、この元宗の時代に、涌谷に来たんですね。その右側に亙理氏、綱宗というのがありますが、元宗のお兄さんに子供がなくて弟の元宗が亙理家を継いだ。</p> <p>綱宗というのは、仙南の亙理に城を持っていたんですが元宗の時代になって、涌谷に移動した。また下の方に来て、重宗。その子供があつて、定宗が涌谷の伊達家を継ぎます。右の方に娘とあるんですが、宗重の娘さんに亙理宗根を養子にもらって、即ち慶月</p>

	<p>院の弟を養子にもらって、定宗が仙台の伊達から（の命令で）伊達を名乗らせられて、涌谷伊達家の初代となりました。元々は（定宗の）名字が亙理なものですから、重宗が隠居した形で、娘婿の亙理宗根と結婚したのに着いていって、高清水に（移ったんですね）。それからずっと高清水で宗広から次の蛍光ペンの倫篤まで、倫篤の時代に佐沼に来ました。（これが）現在まで続く、亙理家（の始まり）なんですね。こういう関係で、今、説明いただいた宗重、通称伊達安芸とそれから慶月院の夫、原田宗資。原田宗政、宗時、宗資。宗資の（妻）慶月院、佐沼の亙理家の先祖になる宗根のお姉さんと結婚してできたのが原田甲斐（宗輔）。原田甲斐が、左側にあります宗重、（即ち）伊達安芸を寛文事件、伊達騒動で切ったという言われになっております。いずれにしても、亙理家と今見せられた絵を書いた伊達安芸宗重がこういう関係で、多分、宗重の絵ですが、佐沼の亙理家で絵を持っていたのではないかと（思います）。</p> <p>資料では宗重とだけ書いてあったものですから、今は伊達安芸と書いてあるから問題ないが、伊達宗重（とだけ書かれると）、一般の人たちはピンとこない。伊達安芸というと、寛文事件（の人物）だとわかるものですから、系図を作らせていただきました。</p> <p>今、見てきたもので確認の必要なところでしたり、ご意見等ございましたら受けていきたいと思っております。どうですか。</p> <p>（大内家）文書については前回から何回も皆さんの意見をいただいていたと思いますので、現物を見ての感想、質問等あればお願いします。</p> <p>先程も説明ありましたが、見龍院とは宗重の亡くなった後の、諡号といいますか法名の一部なんですね。見龍院というのは涌谷にお寺がありますし、この伊達安芸が造ったなんていうこともありますしね。お寺の名前が法名に付くということはこういう言われがあるそうです。</p> <p>（質問は）ございませんか。なければ、ご賛同いただけるでしょうか。それ（諮問）に対する答申よろしいですか。</p>
委員	（はい）
議長	はい、ありがとうございました。 大内家の文書について意見はないですか。
委員	大内家文書なんですが、今の保管状況とこれから（の管理状況は）どうなのかということを確認しておくべきかと思うんですが、問題なければいいんですが、その辺だけ危惧されるところです。せっかく貴重なものかと思うので保存の在り方、やり方、どうなのか、確認させていただければと思うんですが、現在どのように保管されているんですか。
事務局	保管場所ですが、現在は東和支所の3階に市の指定文化財である寿庵文庫が保存されている部屋にございます。ただ、保管状況といたしましては、決して良いとは言えないものです。エアコン

	<p>等が入っているわけではなく、夏暑く冬寒いという状況です。(保管) スペースについては、ブラインドを下げていたり、遮光・遮熱を今後考えていかなければならないんですけど、指定をしたからといって歴史博物館、迫町に持ってくるとなると地元の方の心情的に引っかかりを覚えるかもしれません。より良い保管状況を考えれば、歴史博物館へ移管するのは可能ですが、そのあたりの地元の方の感覚的な、感情的な部分ですね。保管環境を改善するであるとか、そういった方法もなくはないんですけども、方向性等が決まっているわけではないので、すぐにできることとすれば遮熱・換気といったところかと思います。</p>
委員	<p>年間の温湿度のデータは取ってるんですか。</p>
事務局	<p>取ってはおりません。体感として夏に（保管場所に）入るだけで汗が吹き出すような状況です。</p>
委員	<p>計器でのデータを取って、まず年間の変動を調べるというのはできるのでしょうか。その結果あまりにも劣悪（な環境）だとすれば地元の方にも話をして。</p>
事務局	<p>そういった部分を含めて、データ収集を蓄積してそれを元に説明や改善を考えていければと思います。</p>
委員	<p>やっぱり現物（の資料）を見ないとよくわからないとは前に話したんです。11月30日（第1回文化財保護委員会）が終わった後で、大内家の親族さんから「その後どうなっているんですか」と聞かれ、まだ結論が出ていません、そのうちに審議で出てくると思いますとお話しました。心配していたようでした。</p>
議長	<p>あとはございませんか。</p>
委員	<p>ありません。</p>
議長	<p>それでは、諮問されました2件について賛同するという事で答申申し上げます。よろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>議長さん、ありがとうございました。</p>

(閉会)